

行政視察報告

鴻巣フロンティア

駅前再開発事業・災害時たすけあいネットワーク・幼保一元化

平成21年1月19日から21日において、京都府長岡京市・宮津市及び綾部市を視察しました。

長岡京市では、平成4年の準備組合設立により始まった「長岡京駅西口地区市街地再開発事業」は、平成18年施工となりました。駅前広場や



綾部市「中筋幼稚園」にて

周辺道路が未整備だった事、低層木造住宅や店舗等が散在していた為で、現在は広場公園・公共公益棟・商業棟・住宅棟が建ち並び、道路整備も含め市民の利便性を高めています。

宮津市では、平成16年に大型台風による被害を受けた経験から「地域たすけあいネットワーク」を整備しました。高齢者や要支援救護者の登録を積極的に進めるにあたり、自治会や民生委員等の役割分担システムが明確にされています。

綾部市では、少子化の影響で幼稚園・保育園の定員割れが生じた事に対応する為、平成12年の幼稚園構想から協議を重ね、幼保一元化施設が平成16年に誕生しました。両者のメリットを最大限に活かす工夫が随所に見受けられました。

鴻巣創会

みんなで一緒に「りっかりっか体操」
〜沖縄県名護市〜

沖縄県は長寿県というイメージがありますが、高齢の方々は長寿であ



名護市役所にて

るものの、特に40代から60代にかけて肥満率が高く、本土の2倍と言われており、メタボ対策が急務となっております。いきいきネットはインターネットを利用し、誰もがどこでも「簡単に」健康の保持増進でき、「個々に合った健康づくり」を図るために栄養指導・運動指導・かかりつけ医の促進・国民健康保険のイメージアップ等、市民の健康管理に役立つ情報を提供しています。

特に、「運動指導においては、りっかりっか体操」を作り、積極的に普及に取り組んでいます。市役所では昼休み中の15分間を使っています。この体操にはストレッチなども取り入れ実効性のあるものとしています。

鴻巣市も国保財政が大変厳しい折、健康指導、メタボ対策を講じること、で医療費削減につなげ、国保会計の支出を減らすことを重要施策とすべきだと思われれます。

ほかに沖縄市「工芸によるまちづくり推進プロジェクト」、那覇市「那覇市地球環境保全行動計画」の視察を行いました。

一人会派クラブ

地域の産業振興プロジェクト
「金目鯛」「雛のつるし飾り」

2月6日に静岡県東伊豆町の産業振興事業を視察しました。温暖な稲取温泉で元気なプロジェクトの実践を学びました。

何と言っても「金目鯛」です。近海で獲れ、次の日の食卓に上るので鮮度抜群。一人平均年収400万円。さらにニジマス・アナゴ・鮎・鰻などの養殖で採算の合う第一次産業が街を活性化させています。

良質な温泉と河津桜の鮮やかなピンク、うちかえす太平洋の波が、一層旅情を豊かなものにしていました。また、「雛のつるし飾り発祥の地」として、文化公園「雛の館」をリニューアルオープンして観光の目玉として売り出しています。

観光協会・旅館組合もタイアップして、今人気の永井裕子さんのCDも出して大宣伝しています。

街なかに、つるし雛が春の風に揺れ、観光客・河津桜・金目鯛などの新鮮な魚、おいしい柑橘類かんきつなど、条件を一つ一つ積み上げての街おこしの実践が、産業振興に結び付くことを実感しました。

当市においての「歴史民俗資料館」についても交流をしました。

施設整備だけでは成功しません。商店が元気になるような、少しずつの条件整備が成功してこそ、活気のある街づくりに繋がると思います。新年度予算を審議する上で、大変参考になる視察でした。



東伊豆町にて

その他、2月5日に御殿場市の交流センターを視察しました。

クリーン・ネット21

総合地方卸売市場・東部クリーンセンター・奴国の丘歴史資料館を視察
平成21年1月26日～28日、長崎県大村市・佐世保市・福岡県春日市を視察しました。

大村市総合地方卸売市場は、第三セクター市場として平成7年4月に開場され、青果と花きを取り扱っていますが、近年は周辺に多く出来た農産物直売所で消費者は花を青果物と一緒に購入する傾向があり、市場での一般向け花きは少なく、冠婚葬祭用の切り花が多いとの事でした。

佐世保市では、ごみ・し尿施設の「東部クリーンセンター」を視察。この施設は、平成13年1月に竣工。処理対象は佐世保市全域、約25万5千人。1日100トン処理可能な炉が2炉あり、コンピュータシステムを導入し、ごみ収集車の計量から灰搬出までほとんどの操作を自動化し、機器の運転状況の中央監視を含め、必要最小限の人員で運営管理できる施設となっています。また、熱エネルギーをボイラーで回収して発電を行い、施設に必要な電力を全てまか

なっています。

春日市は、弥生時代に文化の先進地として栄え、数多くの遺跡が存在しており、その中の一つが国指定史跡である須玖岡本遺跡すくおかもとです。近年の宅地開発に伴う埋蔵文化財の発掘調査等により収蔵資料が増加、既存の保管施設では収蔵しきれなくなり、遺跡の保存整備を含め丘陵地一体を「奴国の丘歴史公園」として整備し、民俗資料及び埋蔵文化財資料の拠点施設として建設されたのが「春日市奴国の丘歴史資料館」です。

教育委員長に対する質問

「新学習指導要領の対応について」

問 新学習指導要領により学校教育の新たな展開が求められているが、本市の特色ある学校教育はどう変わるか。

答 「まちづくり」は「人づくり」、教育は最大のまちづくりです。

今回の改定にあたり、学力の低下が懸念され、授業日数が一時間増えるとともに、平成21年度からの移行に向けて準備しています。今回の改定は「生きる力」という部分では同じであり、「ゆとり教育」か「詰め込



春日市奴国の丘歴史資料館にて

クリーン・ネット21 岡田 恒雄

み教育」かという二者択一でなく、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着とこれらを活用する力の育成を車の両輪として伸ばしていくことと捉えています。鴻巣市の学力は全国と埼玉県の平均点を上回っており、多少の課題はあるが概ね大変良い状況にあります。今までの鴻巣教育の大きな蓄積の賜物と考えます。市教育委員会は改定の趣旨を積極的に受け止め「地域に開かれた学校づくり」「道徳教育の充実」「あいさつと返事のできる子の育成」に努め、事務局や各学校に指導してまいります。